Tohoku Murata Manufacturing Co., Ltd.
1-1 Shimosugishita, Takakura, Hiwada-machi, Koriyama-shi, Fukushima 963-0531 JAPAN
Phone : +81-24-955-7854 / E-mail : tmm-qa-compliance@murata.com

文書番号:SDS-SR-001-J

安全データシート

注記： SDSは密閉された製品には適用されない。通常の運搬および使用において、電池は密閉された状態にあるので、ここに記載した情報は、参考用として提供するものである。本製品安全データシートに記載する情報は、安全性のみを目的とし、対象としているものであり、公表時点で、当社が知り、経験したすべての知見に基づき、誠実に提供されているが、当社は意図されている本来の用途以外に本製品を使用することにより発生する人体への被害、物品および財産への損害などについては、如何なる責任を有するものではない。

1. 製品及び会社情報

製品名	酸化銀電池
モデル名	SR416SW, SR421SW, SR512SW, SR516SW, SR521SW, SR527SW, SR616SW, SR621, SR621W, SR621SW, SR626, SR626W, SR626SW, SR712SW, SR714SW, SR716SW, SR721, SR721W, SR721SW, SR726, SR726W, SR726SW, SR731SW, SR41, SR41W, SR41SW, SR48, SR48W, SR916SW, SR920, SR920W, SR920SW, SR927, SR927R, SR927W, SR927SW, SR936, SR936W, SR936SW, SR1116, SR1116W, SR1120, SR1130, SR1130SW, SR43, SR44, SR44R
ブランド	murata
会社名	株式会社 東北村田製作所
住所	〒963-0531 福島県郡山市日和田町高倉字下杉下1-1
連絡先	電話 024-955-7854
緊急連絡先	+1(703)527-3887 (CHEMTREC)
メールアドレス	tmm-qa-compliance@murata.com
改訂日	2026年1月1日
発行部署	株式会社 東北村田製作所 事業品質保証3部
発行担当者	Shun Sato

2. 危険有害性の要約

重要な危険有害性	該当する情報なし	
特有の危険有害性	該当する情報なし	
想定される非常事態の概要	危険性	化学成分は電池缶の中に密閉されている。 しかし、電池が機械的,電気的に誤った取り扱い方をされた場合、 電池内部の電解液などが流出する可能性ある。 特に腐食性のあるアルカリ性電解液が漏出し皮膚や眼に付着した場合は 高い危険となる。
	有害性	電池が燃焼した場合、発生した蒸気は、目、皮膚、のどを刺激する恐れがある。

3. 組成及び成分情報

部 位	成 分	CAS No.	組 成
正極材料	酸化銀	20667-12-3	7～45wt%
	二酸化マンガン	1313-13-9	0～25wt%
負極材料	粉末状亜鉛	7440-66-6	4～12wt%
電解液	水酸化カリウム (KOH)	1310-58-3	1～6wt%
	水酸化ナトリウム (NaOH)	1310-73-2	
その他	この電池には、水銀やカドミウム、鉛などの重金属は含まれない。		

4. 応急処置

飲み込み時	粘膜に化学やけどを与えるおそれがあるため、ただちに医師に相談する。 食べ物や飲み物を与えない。
皮膚付着時	電池内の成分が漏出し皮膚に付着した場合、皮膚への刺激を感じ、 さらに化学やけどを引き起こすこともある。汚れた衣類を脱がし、皮膚を多量の水で洗う。 万一、化学やけどとなったり、皮膚への刺激が続くときには、医師に相談する。
眼に付着時	電池内の成分が漏出し眼に入った場合、激しい刺激を感じ、化学やけどを引き起こすことがある。 すぐに多量の水で数分間洗い（出来ればコンタクトレンズをはずして）、医師につれていく。
吸引時	電池内の成分が漏出し吸入した場合、呼吸器への刺激を感じることがある。 新鮮な空気を与える。医師に相談する。
口に入った場合	電池内の成分が漏出し口に入った場合、口、食道、胃腸系が化学やけどを起こすことがある。 口をすすぐ。無理に吐かせない。医師に相談する。

5. 火災時の対応に関する情報

消火剤	火災時にはあらゆる消火剤や水を使用してもかまわない。 火災初期の場合、電池を火元近辺から安全な場所へ移動させること。 電池の破裂を防ぐために電池周辺を冷やす。 作業時は保護めがね、マスク、手袋などを着用のこと。

6. 漏出時の措置（電解液が製品から漏れ出した場合）

人体に対する注意事項	電解液の異臭を一時的に吸引したり、皮膚に付着したりした場合でも 健康上に大きな問題は発生しない。 但し、すみやかに換気を行い、電解液を洗い流すこと。 この場合、硼酸水溶液、または水を含ませた布で拭き取り、残分を多量の水で洗い流す。
環境に関する注意事項	乾布で拭き取り、火気より遠ざける。

7. 取り扱い上の注意事項

取扱注意	電池は誤使用等により、漏液、発熱、または極端な場合には破裂が起こることがあるため、 次の点に注意すること。 (1)ショート(短絡)させない。 (2)正しい向きに電池を装填する。 (3)異なる種類の電池、新しい電池と古い電池とを混用しない。 (4)電池を加熱したり、はんだ付けしたり、火の中に投入しない。 (5)電池を分解したり、変形させたり、加工したりしない。 (6)大人が監視していないところで、子供に電池の交換をさせない。 (7)飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。 (8)この電池は充電用として設計されていないため、充電はしない。
保管方法	電池は換気のよい、乾燥した涼しい場所に保管する。 保管温度は+10℃～＋25℃が適切であり、＋30℃を超えないことが望ましい。 極端な湿度条件(相対湿度が85%以上または45%以下)を避ける。 また、長期間の直射日光及び雨水を避けて保管する。 高温にさらすと、性能劣化が大きくなったり、漏液が起こりやすくなる。 短絡すると火傷や漏液または爆発の危険性を引き起こす可能性があるので、容器内の電池が飛び散らないようにする。また、短絡の原因となるので、水や金属チェーン、金属チップなどと接触は避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

特に無し

9. 物理的及び化学的性質

状態	固体
外観等	ボタン形
公称電圧	1.55V

10. 安定性及び反応性

安定性　　：通常の使用環境下では安定
避けるべき条件　：7項参照

11. 有害性情報

化学物質は電池ケースの中に密封されているので、有害性は無い。

12. 環境影響情報

使用済み電池が土中に埋め立てられた場合、電池に含まれる金属の流出は殆どないことが確認された。

環境影響への情報はない。

13. 廃棄上の注意

電池を廃棄する場合、お互いの接触を避けるために、電池の正極と負極の端子を絶縁すること。
電池は、重ねたり、ばらばらに混ぜられた場合、短絡することがある。
法律ならびに各地方自治体の条例に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

酸化銀電池は、“乾電池”に分類され輸送規制にて規制される危険物質ではない。

国際民間航空機関(ICAO)及び国際航空輸送協会(IATA/DGR(第67版)の要求事項である特別規定A123を満足しているので、

通常貨物としての輸送が可能である。

また、国際海事機関(IMO)、米国運輸省(DOT)の輸送規制においても、通常貨物としての輸送が可能である。

船舶、トレーラーまたは鉄道で輸送する際は、高温放置、結露などを避ける。

荷崩れ、梱包破損の可能性のある輸送は避ける。

15. 適用法令

EU電池規則 REGULATION（EU）2023/1542

16. その他

製品の見積、販売に関するお問い合わせは村田製作所HPの専用フォームまでご連絡をお願い致します。
お問い合せ先 ： <https://www.murata.com/ja-jp/contactform>